

環境基本計画（後期）進捗管理指標一覧

※は単年度の指標です。進捗率は3年度実績／目標値（令和3年度）の単年度計算による算定です。

基本目標 A 環境と産業の調和の実現と好循環の創出

進捗管理指標	基準 (平成 22 年度)	令和2年度 実績	目標値 (令和3年度)	進捗率	担当 部局
①商店街における街灯のLED化の取組み[累計]	31 商店 (平成 22 年度)	113 商店街	115 商店街	97.6%	産業 経済部
②環境保全技術分野の新製品・新技術コンクール受賞数 [／年・() 内は累計] 大田区中小事業者が開発した優れた新製品や新技術を表彰する「新製品・新技術コンクール」において、環境技術に関わる案件は、令和3年度は1件でした。	2 件 (平成 27 年度)	1 件 [※] (6 件)	2 件 [※] (12 件)	50.0% [※] (50.0%)	産業 経済部
③海外からの団体視察受入数[／年]	14 団体 (平成 27 年度)	0 団体 [※]	15 団体 [※]	0.0% [※]	産業 経済部

基本目標B 快適で安全な暮らしの実現					
進捗管理指標	基準 (平成 22 年度)	令和3年度 実績	目標値 (令和3年度)	進捗率	担当 部局
①道路沿道測定局の二酸化窒素環境基準達成率※ ¹	66.7% (平成 22 年度)	100%	100%	100%	環境 清掃部
②道路交通騒音の環境基準達成率※ ² 基準年 77.1%に対し令和元年度実績は 86.4% でした。測定結果をもとに管理者に要望を行い 状況改善に向けた取組を継続します。	77.1% (平成 27 年度)	86.4%	100%	40.6%	環境 清掃部
③一般環境測定局の二酸化窒素環境基準達成率 の維持	100% (平成 22 年度)	100%	100%	100%	環境 清掃部
④航空機騒音の環境基準達成の維持	100% (平成 27 年度)	100%	100%	100%	環境 清掃部
⑤光化学スモッグ通報の発令回数 基準年 5 回に対し令和 3 年度の発令回数は 0 回 でした。光化学スモッグの発生は気象条件など 広域的な要因もあり、東京都と連携した取組み も進めていきます。	5 回 (平成 22 年度)	2 回	0 回	60.0%	環境 清掃部
⑥呑川（山野橋・底層）の溶存酸素量※ ³ 基準年 0.7mg/L に対し、令和 3 年度実績は 1.5mg/L でした。溶存酸素量を増やして水質を 良好にするため、平成 26 年 6 月に大平橋付近の スカム発生抑制装置を更新・機能強化し、令和 3 年から高濃度酸素水浄化施設が稼働していま す。	0.7mg/L (平成 27 年度)	1.5mg/L	2.0mg/L	61.5%	環境 清掃部

環境基準とは

環境基本法により国が定めています。大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音について、人の健康や生活環境を守るために、「維持されることが望ましい基準」のことを言います。

※ 1 道路沿道測定局の二酸化窒素環境基準達成率：二酸化窒素の環境基準*を達成した道路沿道測定局 3 局の割合

※ 2 道路交通騒音の環境基準達成率：定点で昼夜ともに基準値以下と推計される戸数割合

※ 3 呑川（山野橋・底層）の溶存酸素量：年 12 回の水質測定結果の年度平均値

基本目標 C 低炭素社会の構築					
進捗管理指標	基準 (平成 22 年度)	令和3年度 実績	目標値 (令和3年度)	進捗率	担当 部局
①大田区の温室効果ガス排出量	3,261 千 t-CO ₂ (平成 20 年度)	3,023 千 t-CO ₂ (令和元年度)	3,138 千 t-CO ₂ (令和元年度)	193.3%	環境 清掃部
②区民一人当たりの温室効果ガス排出量	4.72 t-CO ₂ /人 (平成 20 年度)	4.12 t-CO ₂ /人 (令和元年度)	4.47 t-CO ₂ /人 (令和元年度)	241.5%	環境 清掃部
③大田区のエネルギー消費量	37,506 TJ (平成 20 年度)	30,363 TJ (令和元年度)	30,829 TJ (令和元年度)	107.0%	環境 清掃部
④区民一人あたりのエネルギー消費量	54.3 GJ/人 (平成 20 年度)	41.3 GJ/人 (令和元年度)	44.0 GJ/人 (令和元年度)	125.8%	環境 清掃部
⑤住宅用太陽光発電システムの設置件数 [累計]	975 件 (平成 22 年度)	4,493 件	3,400 件 (令和 2 年度)	145.1%	環境 清掃部
⑥区有施設の再生可能エネルギー設備等導入件数 [累計]	15 施設 (平成 27 年度)	25 施設	18 施設	333.3%	企画 経営部 都市基盤 整備部
⑦庁有車の低公害車導入率 基準年度 65.4%に対して令和 3 年度実績は 58.3%となり、進捗率は△61.7%ですが、令和 2 年度進捗率△80.0%から改善されました。この実績及び進捗率の算定にあたっては、清掃事業用車両が含まれています。当該車両は東京二十三区清掃一部事務組合（以下、「清掃一組」）の指定された車両の導入が必要とされ、この指定車両に低公害車対象ではない車両が含まれることから、進捗率の未達成につながっています。清掃一組指定車両を算定から除外すると、区保有車両計 82 台、うち低公害車 62 台となり、実績 75.6%と、目標値の 76.9%に肉薄しています。	65.4% (平成 27 年度)	58.3%	76.9% (令和 2 年度)	-61.7%	環境 清掃部
⑧屋上緑化・壁面緑化の実施件数 30 年度に調査実施	3,189 件 (100,907 m ²) (平成 21 年度)	3,652 件 (137,384 m ²) (平成 30 年度)	3,500 件 (111,000 m ²) (令和元年度)	104.3% (123.8%)	まち づくり 推進部

基本目標 D 自然共生社会の構築					
進捗管理指標	基準 (平成22年度)	令和3年度 実績	目標値 (令和3年度)	進捗率	担当 部局
①コアジサシを知っている区民の割合 令和3年度に実施した「大田区政に関する世論調査」では30.9%の方が「知っている」との回答がありました。	34.1% (平成22年度)	33.8%	50.0%	-1.9%	環境 清掃部
②アオスジアゲハを見たことのある区民の割合	—	14.6%	50.0%	29.2%	環境 清掃部
③自然環境調査に参加する区民の数 [／年]	194人 (平成22年度)	50人	300人	-135.8%	環境 清掃部
④自然観察会の参加者数(応募者数) [／年]	55人 (155人) (平成27年度)	107人 (194人)	100人 (200人)	115.6%	環境 清掃部
⑤「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合 平成30年度に調査実施	54.4% (平成20年度)	58.7% (平成30年度)	65.0% (令和2年度)	40.6%	環境 清掃部
⑥緑被率 平成30年度に調査実施	20.5% (平成21年度)	18.3% (平成30年度)	20.9% (令和2年度)	87.7%	まち づくり 推進部
⑦空港臨海部埋立地での新たな公園・緑地の整備量 [累計] 基準年以降新たに組み込んだ整備量です。基準年0haに対し令和3年度までの累計実績8.4haでした。	0ha (平成21年度)	8.4ha	5.0ha (令和2年度)	168.0%	都市基盤 整備部
⑧直径40cm以上の樹木の本数(公園・緑地、街路樹を除く) 平成30年度に調査実施	10,224本 (平成21年度)	8,531本 (平成30年度)	12,500本 (令和2年度)	68.2%	まち づくり 推進部
⑨暮らしを支える身近な公園の充足率	97.0% (平成20年度)	97.0%	98.0% (令和2年度)	0.0%	都市基盤 整備部
⑩洗足池に集う野鳥の種類 3年に1回の調査のため、次回調査は令和4年度の予定です。	21種 ^{※4} (平成22年度)	30種 (令和元年度)	38種 (平成30年度)	—	環境 清掃部
⑪生物多様性に配慮した管理方法を取り入れる公園の数 [累計] 基準年以降新たに組み込んだ公園数です。基準年0箇所に対して令和3年度までの累計実績10箇所でした。	0箇所 (平成22年度)	10箇所	10箇所	100.0%	環境 清掃部

⑫バイオープづくり等に取り組む区民活動団体数〔累計〕	6 団体 (平成 22 年度)	9 団体	10 団体	75.0%	環境 清掃部
⑬公共施設緑化実績 (学校緑化実績含む)〔累計〕	18,187 m ² (平成 27 年度)	27,241 m ²	19,400 m ²	746.4%	企画 経営部

※4 専門調査機関による調査

基本目標 E 循環型社会の構築					
進捗管理指標	基準 (平成 22 年度)	令和3年度 実績	目標値 (令和3年度)	進捗率	担当 部局
①区民 1 人 1 日あたりのごみと資源の総量 ^{※5}	658g (平成 27 年度)	640g	623g	97.3%	環境 清掃部
②区民 1 人 1 日あたりの区収集ごみ量 ^{※6}	518g (平成 27 年度)	497g	486g	97.8%	環境 清掃部

※5 区が収集した家庭ごみと区が回収した資源の総量を区民 1 人 1 日あたりの量に換算したもの
(事業者が自主回収した資源は除く。)

※6 区が収集した家庭ごみの総量を区民 1 人 1 日あたりの量に換算したもの

基本目標 F 持続可能な地域づくりのための学習と参加の場の創出

進捗管理指標	基準 (平成 22 年度)	令和3年度 実績	目標値 (令和3年度)	進捗率	担当 部局
①環境マイスター養成講座修了者数 [／年・() 内は累計]	17 人 (平成 27 年度)	0 人 (66 人)	20 人 (110 人)	0.0% (60.0%)	環境 清掃部
②環境学習・講座の開催数、参加者数 [／年]	6 回 385 人 (平成 27 年度)	9 回 747 人	10 回 500 人	75.0% (314.8%)	環境 清掃部
③エコフェスタワンダーランドの開催校以外の 参加者率 (アンケート調査による) エコフェスタワンダーランドがオンラインでの 開催となったため、実績令和 3 年度実績はあ りません。	—	—	50%	—	環境 清掃部
④ふれあいパーク活動団体数 基準年 126 団体に対して令和 2 年度実績 122 団 体でした。関係部局が 18 色の緑づくり事業など と連携して推進していきます。	126 団体 (平成 22 年度)	122 団体	170 団体 (令和 2 年度)	-9.1%	都市基盤 整備部
⑤区民活動情報サイト (オーちゃんネット) の くらし・環境関連登録団体数	100 団体 (平成 22 年度)	219 団体	200 団体	119.0%	地域力推 進部
⑥ (仮称) おおたエコプラザの整備 立地やコンセプトについて検討しました。	未整備 (平成 22 年度)	未整備	整備	—	環境 清掃部